

計画事業番号	00280	事務事業名	花ホールスタッフの会支援事業	担当部署	教育部文化課	電話	372-7667
--------	-------	-------	----------------	------	--------	----	----------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	花ホールスタッフの会交付金交付要綱			
事務事業開始年度	平成23年度		個別計画等	北広島市芸術文化振興プラン			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち						
	(第 7 節) 芸術文化の振興						
	(施策 2) 市民等との連携による芸術文化活動の展開						
2 対象	市及び芸術文化ホール運営委員会等が主催する鑑賞事業のサポート活動など、芸術文化ホールを拠点に活動する花ホールスタッフの会を支援する。また、新たなホールボランティア育成のため講習会を実施する。						
3 目的と内容	<p>【事業概要】</p> <p>芸術文化ホール(花ホール)を拠点に活動する花ホールスタッフの会に交付金を交付し、市及び運営委員会が主催する鑑賞事業のサポート活動やバーコーナー運営、貸館サポート活動を展開する。また、花ホールスタッフの会の会員数拡大とボランティア活動の資質向上を図る。</p> <p>【事業目的】 芸術文化ホール(花ホール)の事業運営を市民と協働し行うことを目的とする。</p>						
4 実施内容(手段)	28年度まで	花ホールスタッフの会交付金の交付 300,000円 ボランティア講習会の実施(バックヤードツアーとの合同開催) 平成29年3月8日(水) 会場:芸術文化ホール 来場者:84名					
	29年度	花ホールスタッフの会交付金の交付 300,000円 ボランティア講習会の実施					

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
花ホールスタッフの会に助成 花ホールボランティア講習会の実施	花ホールスタッフの会に助成 ボランティア養成講座と講演会 来場者84名	花ホールスタッフの会に助成 花ホールボランティア講習会の実施	花ホールスタッフの会に助成 花ホールボランティア講習会の実施	花ホールスタッフの会に助成 花ホールボランティア講習会の実施

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	現状継続とし、芸術文化ホールの運営を円滑に行うために不可欠な団体であるため、継続した支援を行う必要がある。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
決算額、当初予算額又は推進計画額		320	320	320	320				
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0			
		道支出金	0	0	0	0			
		地方債	0	0	0	0			
		その他特財	0	0	0	0			
		一般財源	320	320	320	320			
	① 合計	320	320	320	320				
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10
③ 1人当り年間平均人件費	9,000	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
④ =②×③	900	0	840	0	840	0	840	0	
総事業費①+④		1,220	1,160	1,160	1,160				

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①花ホールスタッフの会会員数	人	45	45	45	45
		実績値	37			
	②	目標値				
		実績値				
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
③	目標値					
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	・花ホールスタッフの会の活動は、芸術文化ホールで行われる事業(市民主催・行政主催共に)の開催に欠かせないボランティアであり、ホールを利用する方々に定着しており、補助することは妥当である。 ・会への入会は、随時可能である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	・ボランティアのサポートにより、安定したホール運営が可能となっている。 ・会自らが、資質向上のための研修を行っている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	・ボランティアとしての研修を重ね、来場者への対応をより向上させていくほか、ボランティアを希望する市民が活動に容易に参加できるよう体制を整えていくことが必要である。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	・年間約50回程度のサポート活動を行っており、会において補助金は主に資質の向上のための研修に充てられている。 ・今後も補助金が適切に活用されるよう指導を行っていく。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 280

＜継続用＞

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	花ホールスタッフの会交付金		
交付先の名称 及び代表者名	花ホールスタッフの会交付金 会長 富樫久夫	設立年	平成11年
構成員(団体)数	34名 (29年3月末現在)		
交付先団体等の 活動目的	ボランティア精神に基づき、芸術文化ホールを活動の拠点として、積極的に地域とともに芸術文化の向上を図ることを目的とする。		
交付先団体等の 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市や芸術文化ホール運営委員会や市民等が開催する芸術文化ホール事業のサポート活動(入場案内、クローク、裏方業務、アナウンスなど) ・技術向上のための研修活動 ・活動周知のための広報活動 ・会内サークル活動(ギャラリー展示活動など) 		
事務局の状況 (29年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況(29年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	300	300	300	
	自己財源	270	346	270	
	雑収入	108	30	25	
	繰越金		87	99	
		収入合計(B)	678	763	694
支 出	旅費	96	92	100	
	消耗品費	35	70	60	
	研修費	190	187	190	
	通信運搬費	0	0	1	
	保険料	11	13	14	
	使用料・手数料	5	5	6	
	その他	254	297	323	
		支出合計(C)	591	664	694
繰越金	収入(B) - 支出(C)	87	99	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		51%	45%	43%	
補助・交付金の対象経費(項目)		その他以外すべて	その他以外すべて	その他以外すべて	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		300	300	300	
対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)		100%	100%	100%	
補助・交付金の算出根拠		定額			